

1 『案外ノリノリだった正直系クールメイドさんとの事務的？ セックス』ASMR脚本

2

3 ◆登場人物

4 ・クールメイド

5 ・あなたのお屋敷に勤めるクールなメイドさん。

6 ・正直かつ有能で、頼まれた仕事をしっかりこなすタイプだが、

7 面倒くさがりで思った事ははっきり言う。

8 ・あなたにセックスをするよう命じられ、気乗りしないが命令だから

9 しゃーなしと付き合ってくれる。

10 ・エッチなことや気持ちいいことが好き。

11

12		
13		【案外ノリノリだった正直系クールメイドさんとの事務的？ セックス】
14		場所…お屋敷・あなたの部屋・夜
15		
16	⑥中	▼あなたの部屋に来たメイドさん。
17		「失礼致します。おぼっちゃま」
18		▼メイドさん、あなたに近づいてきて
19		SE ⑥中↓⑥近…足音
20	⑥中↓⑥近	「私（わたくし）に何やらご用があるとの事ですが…」
21		「いいえ、わざわざ言っていたただかなくても結構です」
22		「…性欲処理がしたいと、申されるのでしょうか？」
23		
24		▼あなた、驚きつつも同意
25		▼間
26		
27		「…はあ、おぼっちゃまの考えている事など、お見通しでございます」
28		「常日頃私に送る視線に、気づいていないとでも？」
29		「正直面倒くさいですが…これも次期頭首となるおぼっちゃまの命令です」
30		「謹んで、お受け致します。」
31		「では、ベッドに参りましょう」
32		
33		▼メイドさんあなた、ベッドに移動
34		SE ⑥中下…足音
35		
36		「どうぞ、横になってください」
37		

38	▼あなた、ベッドに横になる	
39	SE ⑫接…衣擦れの音	
40	SE ⑫接…ベッドがきしむ音	
41		
42	「では、私も失礼して…」	⑦近下
43	「…いえ、その前に下着は脱いでおいた方が良いでしょうね」	
44		
45	▼メイドさん、下着を脱ぐ	
46	▼クールさは保ったままで、息遣い	
47	「ふう…ふう…」	
48		
49	SE ⑦近下…パンツが脱げる音	
50		
51	▼パンツを脱いだメイドさん、平静さを保ったままで	
52	「では、失礼致します」	
53		
54	▼メイドさん、ベッドに上がる	
55	SE ⑦中下↓⑥中下…衣擦れの音	
56	SE ⑥中下…ベッドがきしむ音	
57		
58	「さっさと済ませたい所ではあるのですが…」	⑥中
59	「もう少々、大きくした方が良さそうですね」	
60		
61	▼メイドさん、あなたの前に近づき	
62	「こういう時は刺激を与えるのが一番です」	⑥中↓⑥近
63	「私の手を使って、勃起状態までもっていきますね」	
64		

65	
66	⑥近↓⑤近
67	▼メイドさん、あなたのズボンを脱がせ始める 「失礼致します」
68	SE ⑥近…衣擦れ音
69	SE ⑥近下…ベルトを外す音
70	SE ⑥近下…チャックを降ろす音
71	
72	▼脱がせながら、息遣い
73	「ふう…ふう…」
74	
75	SE …ズボンとパンツが脱げる音
76	
77	「これで準備万端ですね」
78	
79	「では、改めて私の手で…シコシコさせていただきます」
80	▼メイドさん、手コキ開始
81	SE …手コキ音 ※以下継続
82	
83	▼手コキに集中して、息遣い
84	「ふう…ふう…」
85	「おぼっちゃま、気持ち良くてもピュッピュしないでくださいね？」
86	「正直私はそれでもいいんですが…おぼっちゃまとしては不本意でしょう？」
87	「おぼっちゃまがちょうどいいと感じるタイミングで、止めてください」
88	
89	▼間
90	
91	

92	「…ふう、ふう…ん、大きくなっ て はいますが…もう少し…でしょうか？」
93	「仕方ありませんね」
94	「お耳、失礼致します」
95	
96	SS …衣擦れ音
97	
98	▼メイドさん、手コキしながらあなたの耳に顔を近づけ息遣い
99	「ふう、ふう…」
100	
101	▼息を吹きかける
102	「ふう…」
103	
104	▼耳キス
105	「んっ…ちゅっ、ちゅう…ちゅっ、ちゅぷ…ちゅっ…んふっ…」
106	「ちゅう…ご存知ないのですか？」
107	んっ、ちゅっ…ちゅ、性感を高めるために…
108	ちゅっ、ちゅっ…こうすると…いいですよ」
109	
110	▼顔を離して
111	「おちんちんと耳を同時に責められたら…気持ちいいでしょう？」
112	「さらに…このようにすれば…」
113	
114	

▼耳舐め

「んちゅう、れる…れるれる…れるちゅっ、れるぷちゅ…
ふう、ふう…んじゅりゅちゅ…」

「れる、れる…れる…れるぷちゅ…はあ、はあ…いかがです？
れるれる、おぼっちゃま」

「ふう、ふう…れるろ、れりゅゝちゅ、んちゅ、れるろゝ」

▼顔を離して

「…ふう、随分とご立派になられていますね」

「…もう少しだけ、しておきましょうか」

▼メイドさん、反対側の耳に顔を近づけ

▼息吹きかけ

「ふゝ、ふゝ、ふゝ…」

▼耳キス

「んっ…ちゅっ、ちゅっ、ちゅう…ちゅ…」

「んふっ…同じ耳とはいえ、左右では感じ方も変わるでしょう？
ちゅっ…ちゅう…」

「ちゅうつ、ちゅっ…んふっ、ちゅっ…ちゅう、ちゅっ…ちゅ…」

▼耳舐め

「お気に召したようで、良かったです…ちゅっ…ちゅう…れるろ…
れるちゅっ…」

「おぼっちゃまの…ん、れるれる…反応を見れば…れるれちゅ…わかります」
「れるれる、れろ、れるれりゅ…んじゅ、れるゝ、れるゝ…
れるれるれりゅ…ふうっ…」

143	SE … 手コキ音 ※終了
144	
145	▼耳から顔を離して
146	「では、おぼっちゃまの準備もできたようなので…
147	そろそろ、はじめるといたしましょう」
148	
149	▼メイドさん、体勢を変えつつ息遣い
150	「ふう…ふう…」
151	
152	SE … 衣擦れ音
153	
154	「挿入は私の方が動きます」
155	「わざわざおぼっちゃまのお手を煩わせるわけにはいきませんし…」
156	「変な挿入をされては、かないませんから」
157	
158	▼メイドさん、対面座位の体勢で挿入準備
159	SE … 水音
160	
161	▼やや興奮気味に
162	「んふ…ふう、ふう…」
163	「では、失礼して…」
164	
165	▼メイドさん、腰をおろして挿入
166	SE … 挿入音
167	
168	「んっ…ふうっ♡」
169	

▼ちょっとだけ感じつつ

「んっ、ふう…ふう、これは…予想以上に…ふっ♡

いいところに…当たりますね♡」

「正直…んっ♡ おぼっちゃまからの呼び出しを受けた時は…

ふう、ふう…んんっ♡」

「面倒だと思いましたが…」

「これであれば…悪くないかもしれません…んんっ♡ ね♡」

「では、ふう、ふう…動きます…♡」

▼メイドさん、腰を動き始める

SE …ピストン音 ※以下継続

▼思ったよりも具合がよく、自然と声が漏れてしまう

「んっ、ふっ…ふうっ…はあ、んっ…んんっ…んっ、んっ…」

「お加減は…はあ、んっ…いかがですか？ んんっ♡

はあ、はあ…んっ♡ んふう♡」

「それなりに…良い出来だと…はあ、んっ…自負はありますが…んっ、んっ♡」

「おぼっちゃまの…んんっ！ はあ、はあ…ご期待に…添えていれば…

光栄で…すうっ…んんっ♡」

▼徐々に快感に身を任せ始めるメイドさん

「ふう、ふう…んっ！ んっ！ あっ…はあ、あっ、あう…んっ！
んふっ！ はあ、はあ…ふう♡」

「はあ、そこ…んっ♡ いいです…んっ！ んっ！ はあうっ♡
んふっ…んっ！ んっ！ んう♡」

「はあ、はあ、こんなに…んんっ！ いい…なんてえ♡

さすが…次期…頭首なだけ…」ざいます♡ んんっ！ はあ、はあ♡」

「ふう♡ んっ！ いつもやんちゃばかりされる…

面倒くさい人だと…んんっ♡ 思っていました…はあ、はあ♡」

「ふーっ！ ふーっ！ おちんぽも…んんっ！

やんちゃ…なのですね♡ はあ、ふっ！ んんっ♡」

「ふふっ…んっ！ もちろん、いい意味で…でございますよ♡

ふう、んっ！ んんっ！」

「私…嘘はつきませんから♡ はあっ！ んうっ！ んっ！ んっ！
んんっ！」

▼あなたとメイドさん、互いに限界が近づき

「ふうーっ！ んんっ！ ふうーっ！ はああ…！

ふふっ…おぼっちゃま…そろそろ…んんっ！ 限界の…ようですね♡」

「立派なものはお持ちでも…んっ！ まだまだ…我慢弱いようですね♡

はあ…んふう…！」

「いえ、いいですよ…多少の欠点があるうが…んんっ！

それは努力で克服できますし…んんっ♡ はあ、はあ♡」

「それに…んんっ！ 私も…そろそろ…限界が近づいて…んんっ！

参りましたから…ああ、はあ、はあ…！」

217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243

▼メイドさん、あなたをギューツと抱きしめて
SE…衣擦れ音

▼耳元で、感じながら射精懇願

「おぼっちゃま♡ おぼっちゃまあ…出して…出してください♡」

「私めの中に…んんっ♡ おぼっちゃまの欲望を、全部全部全部う！」

「んっ！ ふう、はあ、はあ、はあ…そうです、もうすぐ…」

「さん、にい…いーちっ♡」

「びゅ、びゅ、びゅっ！」

SE…ピストン音 ※終了

SE…射精音

▼射精と同時に絶頂

「んっ♡ んんんんっっっっ！」

「あああ…んっ！ ふうう…んんっ♡ こんなに…たくさん…んんっ♡」

▼絶頂の余韻を感じながら

「ふう…ふう…ふう…いかが、でしたか？」

「」満足、いただけたでしょうか？」

▼あなた、何かしらの反応

▼間

「なら、良かったです」

244

「…おぼっちゃま、もしまた性欲処理をしたいという事でしたら…」

245

「いつでも、お声がけください」

246

「…私としても、面倒な労働をするよりも…こちらの方が…楽しめますから」

247

「当然です…それに嘘などついておりません」

248

「私、正直者ですから」

249

「…ね♡」

250

・ 案外ノリノリだった正直系クールメイドさんとの事務的？ セックス

251

END

252

253

254